150

単振動する物体の速度v,加速度aは、

位置を表すx = f(t)を1,2回微分した式で表すことができる。

よって、単振動の基本式

$$x' = v = A\omega \cos(\omega t)$$
 ··· ②

$$x'' = -A\omega^2 \sin(\omega t)$$
$$= -x\omega^2$$

$$=-x\omega$$

= a

式②より、

$$v = 0.4 \, m/_{S}$$
 , $t = 0s$

を代入して、

$$0.4 = A\omega \cos(\omega \cdot 0)$$

$$A\omega = 0.4 \, m/_{\rm S} \qquad \cdots$$

式③より、

$$x = 0.2m$$
, $a = \pm 0.8 \frac{m}{s^2}$

を代入して、

$$-0.2\omega^2 = \pm 0.8$$

$$\therefore \omega = 2 \, \mathrm{s}^{-1} \qquad \cdots \, (5)$$

式4,5より、

$$A = 0.2m$$

よって単振動の式は、

式①に、

$$A = 0.2m$$
 , $\omega = 2 s^{-1}$

を代入して、

$$x = 0.2 \sin(2t)$$
 [m]

また周期では、

$$T = \frac{2\pi}{\omega}$$
 より、
 $T = \frac{2\pi}{2}$

$$T=\frac{2\pi}{2}$$

$$= 3.14s$$